

糖尿病センター(糖尿病内科)



診療科長
河野 茂夫

専門医資格等 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医
日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本糖尿病学会 評議員
京都大学医学博士
京都大学臨床教授

専門分野 糖尿病
得意疾患 足病変

□ スタッフ

平成29年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	村田 敬	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 東京大学医学博士	糖尿病	若年者糖尿病
医師	小鳥 真司	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医 日本病態栄養学会専門医 日本抗加齢医学会専門医 京都大学医学博士	糖尿病	糖尿病
専修医	渡邊 知一	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内科学会 認定内科医	糖尿病	糖尿病
専修医	水谷結香子	日本内科学会 認定内科医 日本抗加齢学会 専門医 日本医師会認定 産業医	糖尿病	糖尿病
レジデント	岡田 早未	日本内科学会 認定内科医	糖尿病	糖尿病
レジデント	塚本 雅美	日本内科学会 認定内科医	糖尿病	糖尿病
臨床研究センター長	島津 章	日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 京都大学医学博士 京都大学臨床教授	内分泌代謝疾患、検査医学、神経内分泌	内分泌代謝疾患
内分泌代謝高血圧研究部長	浅原 哲子	日本内科学会 認定内科医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 日本動脈硬化学会 動脈硬化専門医・評議員 日本病態栄養学会 評議員 日本抗加齢医学会 専門医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 日本糖尿病学会近畿支部 評議員 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師	糖尿病、肥満(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌内科、遺伝診療	糖尿病、肥満(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌内科、遺伝性疾患全般

予防医学 研究室長	坂根 直樹	日本内科学会 認定医 日本肥満学会 評議員 京都府立医科大学医学博士	糖尿病	糖尿病
臨床内分泌 代謝(専任) 研究室長	日下部 徹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指 導医・評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 京都大学医学博士 京都大学客員研究員	糖尿病、肥満症(メ タボリックシンド ローム)、内分泌	糖尿病、肥満症(メ タボリックシンド ローム)、内分泌、 サルコペニア
非常勤医師	小谷 和彦	日本内科学会 総合内科専門医 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医 日本動脈硬化学会 専門医 自治医科大学医学博士	糖尿病	脂質異常症、糖尿病

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本糖尿病学会認定教育施設 日本肥満学会認定専門病院
-------	-------------------------------

- 生活習慣病である糖尿病の治療には、患者さんご自身が自己管理能力を身につけることが大事です。当科では糖尿病教育、すなわち患者さんへの教育を実施すると同時に、患者さんに対する指導能力を高めた教育スタッフを育成し、より一層の治療実績アップに努めます
- 地域の糖尿病基幹病院としての責務を果たすべく、地域連携に努めます

□ 主な対象疾患

2型糖尿病、耐糖能異常、1型糖尿病、肥満症、メタボリック症候群、糖尿病神経障害と糖尿病足病変、糖尿病腎症、糖尿病網膜症(眼科)、妊婦糖尿病、脂質異常症(高脂血症)、糖尿病性昏睡、重症低血糖

□ 診療(業務)内容

糖尿病センターでは一般糖尿病外来および入院での診療に加えてさまざまな専門外来を開設し、さまざまなタイプの糖尿病および関連疾患およびそれらの合併症の充実した診療活動につながっている。

下記に専門外来の診療活動について紹介する。

- ・フットケア外来 毎週月曜日14時~/フットセンター外来 毎週火曜日14時~(2000年開設)フットケア外来では、主に糖尿病に由来する足病変に対応し、全国各地からの紹介患者を集めている。また、非糖尿病足病変患者に対する問い合わせも多く、難治性の足病変を扱う集学的な欧米型のフットセンターを目指している。フットセンター外来では初診は糖尿病センターで行い、一般診察をした上で、関係担当診療科へ紹介している。
- ・フットウェア外来(月2回:木曜日13時~16時 完全予約制)フットウェア外来では義肢装具士がオーストリア人の整形外科靴マイスター(Orthopedic Shoe Meister)と協力して、靴・装具の指導や調整にあたっている。
- ・1型糖尿病外来(2005年開設)毎週火曜日午前・午後、金曜日の午前。/インスリンポンプ外来(2010年開設)毎週月曜日の午後。

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師がチームを組み、療養を支援。特に、通常の食事に合わせてインスリンを調節するカーボカウント、寝る前の修正インスリンと補食による夜間高血糖と夜間低血糖予防、DKAや重症低血糖予防などの教育で、血糖変動をなるべく少なくする質の良い血糖コントロールの達成と生活の質(QOL)の改善を目指している。糖尿病センターに登録されている1型糖尿病患者は約300名。インスリンポンプを用いた持続皮下インスリン注入(CSII)療法を行っている者は85名(新規導入4名)。その中で、SAP(パーソナルCGM機能搭載インスリンポンプ)を用いている者は32名。2017年度の1型糖尿病外来の初診患者は7名である。

- ・肥満・メタボリックシンドローム外来(2001年開設) 毎週 月曜日・水曜日9時～14時
肥満・メタボリックシンドローム外来では、医師・看護師・栄養士によるチーム医療をベースに、体重グラフや食事記録表を登載した当院独自の「ダイエットノート」を活用し、日本肥満学会が提唱する減量指導を行い、動脈硬化等の合併症も定期的に評価している。
また、外来患者を中心に2006年よりメタボ会(患者会)を定期的に開催。さらにメタボ通信、スマートランチ等をチーム医療で展開し、外来開設から現在まで延べ16,000人以上の患者治療を行ってきた。
- ・脂質異常症外来(2005年開設):第2,3,4木曜日。家族性高コレステロール血症(FH)診療認定施設(2013年～:日本動脈硬化学会)で、FH患者は116名を登録(2018年3月末)。FHに対し、PCSK9阻害薬の使用も開始。また、スタチン投与時のCPK上昇例やスタチン関連自己免疫性ミオパチーなど副作用症例への対応も行っている。
高脂血症療養指導外来(2006年)も併設し、食事によるコレステロール改善プログラム(VIP)と節酒による中性脂肪改善プログラム(HAPPY)を提供。
- ・妊娠糖尿病外来(2007年3月開設)第2,4火曜及び毎週金曜日13時～15時 妊娠糖尿病は妊娠中に初めて発見された軽度の(糖尿病には至っていないレベルの)耐糖能異常で巨大児その他の周産期合併症の原因となる。また出産後の糖尿病発症リスクが増大する。妊娠前に糖尿病を発症した場合、糖尿病合併妊娠となり、胎児奇形が大きな問題となり、妊娠前血糖管理が重要となる。2017年度当外来を受診した新規患者数は67名であった。
- ・糖尿病血管合併症外来/毎週金曜日13時～16時 糖尿病血管合併症外来では、糖尿病血管合併症のスクリーニングを行い、他科との緊密な連携によって治療にあたっている。特に、閉塞性動脈硬化症などの合併症に加え腎機能障害を有する糖尿病患者の短期入院で、外来での施行が困難な造影剤による画像検査を施行し、定期的なスクリーニング・治療への展開も検討している。
- ・糖尿病透析予防指導外来 (2012年10月開設) 糖尿病腎症2期以上の患者を対象とし、医師、看護師、管理栄養士が連携して自己管理指導を行う。毎週月、水、木曜日に1名ずつの予約枠となっていて、現在3回シリーズとして指導を実施している。
さらに、糖尿病センターではコメディカルスタッフによる指導として一般糖尿病食事指導(管理栄養士)および糖尿病療養指導外来(インスリン自己注射、血糖自己測定、フットケア指導など:看護師)を開設している。また、自己管理(療養)を患者に指導する医療スタッフである糖尿病療養指導士(CDEJ)は、当院内で看護部、薬剤部、栄養科、検査科などに多数を擁し、綿密な糖尿病セルフケアを支援している。

□ 診療実績(平成29年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
14.5名	339名	14.7日

外来患者数

1日平均患者数
84.9名

主な手術・検査の件数など

CGM(連続皮下ブドウ糖測定)	CAVI/ABI測定	CT(内臓脂肪面積測定)
32件	222件	67件

□ 地域医療連携・広報活動

■糖尿病市民公開講座「第32回DM京都」これからの糖尿病治療 2017年7月22日 参加者 約100名
特別講演 「これからの糖尿病治療」

講師：天理よろづ相談所病院 内分泌内科 特定嘱託部長 辻井 悟

講演 糖尿病とのこれからの付き合い方 2-8病棟 柴田 美歩・尾畑真理子 看護師・糖尿病療養指導士

講演 「昨今の糖尿病食事療法における課題と問題点」 弓場 洋子 栄養管理室・管理栄養士

■平成29年度(2017年度)内分泌代謝疾患研修会「楽しく患者をやる気にさせる糖尿病教育の実践:評価と危機管理も含めて」、平成29年10月16日～18日。北海道から九州まで42施設、メディカルスタッフ64名が参加

■伏見糖尿病連携学術講演会 2017年11月16日

基調講演①「病態を意識した糖尿病の薬物療法を考える」

京都医療センター 糖尿病センター 内科医師 小鳥真司

基調講演②「患者さんの主体性を高める医療コミュニケーションとは？」

京都医療センター 糖尿病センター 内科医師 村田敬

特別講演 「糖尿病診療アップデートと病診連携」

京都医療センター WHO糖尿病協力センター長 河野茂夫

京都医療センター 臨床栄養科 栄養管理室長 西田 博樹

■第17回メタボリックシンドローム会 2018年1月13日 参加者90名

・特別講演「糖質制限からみた食事療法と減量治療」

講師：京都府立医科大学大学院 医学研究科 内分泌・代謝内科学教授 福井道明先生

・運動指導「ラジオ体操とメタボクイズ」

講師：2-8看護師

・食事指導「減量治療-あなたに最適な方法を見つけよう-」

講師：管理栄養室 室長 西田博樹

■第14回 京都医療センター 1型糖尿病セミナー「先進糖尿病治療とその社会的影響」

2018年3月11日(日) 11:00-15:30、参加者約60名。

パッチポンプ、インスリンポンプとCGMの最新情報、先進糖尿病治療とその社会的影響につき、テルモ株式会社 ホスピタルシステムズDMヘルスケア・DM商品企画の丹澤 和彦氏、日本メドトロニック 学術部の角山 信史氏、市立三次中央病院 糖尿病・代謝内分泌内科 医長の杉廣 貴史先生、刈谷豊田総合病院 内分泌・代謝内科 医師の服部 麗先生、東海大学医学部腎内分泌代謝内科学 准教授の豊田 雅夫先生、大沢内科クリニック 院長の大澤 謙三先生、岡山大学病院 糖尿病センター 助教的利根 淳仁先生を招聘して研修会を開催。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
その他	浅原哲子 生活習慣病におけるEPAの多面的効果 京滋北陸EPAフォーラム 京都
その他	山内恵子 講演:気質を知って苦手な人とも上手にお付き合い 大阪
その他	山内恵子 講演:傾聴スキル超入門 東京
国内学会	泉諒太、日下部徹、野口倫生、岩倉浩、小山博之、坂東美佳、宮澤崇、田中智洋、寒川賢治、中尾一和 ANGPTL8のノックアウト開発とその糖・脂質代謝調節における意義の検討 第90回日本内分泌学会学術総会 京都
国内学会	日下部徹、泉諒太、野口倫生、宮澤崇、田中智洋、寒川賢治、中尾一和 メタボリックシンドローム症例におけるANGPTL8/Betatrophinの組織別遺伝子発現の検討 第90回日本内分泌学会学術総会 京都
国内学会	増田慎也、田中将志、井上隆之、北野隆司、村中和哉、山陰一、日下部徹、島津章、浅原哲子 CXCL1はNotchシグナルを介して筋サテライト細胞からの筋管形成を促進させる 第90回日本内分泌学会 京都
国内学会	井上隆之、田中将志、増田慎也、山陰一、北野隆司、村中和哉、日下部徹、和田啓道、島津章、長谷川浩二、浅原哲子 マウス活性化ミクログリアにおけるω3不飽和脂肪酸によるSIRT1を介した炎症抑制作用機序の解明 第90回日本内分泌学会 京都

国内学会	北野隆司、安岡祐美子、後藤剛、北村苗穂子、朴時範、岸野重信、小川順、木村郁夫、粕淵真由、谷史人、田中将志、増田慎也、井上隆之、山陰一、日下部徹、島津章、高橋信之、河田照雄、浅原哲子 食餌脂質・ α -リノレン酸由来乳酸菌代謝物による抗炎症性M2型マクロファージの分化誘導を介した腸内環境制御 第90回日本内分泌学会 京都
国内学会	田中将志、山陰一、増田慎也、井上隆之、北野隆司、村中和哉、小鳥真司、和田啓道、小谷和彦、日下部徹、島津章、長谷川浩二、浅原哲子 糖尿病・肥満における新規認知症予知バイオマーカー-血清TREM2の病態意義の解明- 第90回日本内分泌学会 京都
国内学会	山陰一、日下部徹、小谷和彦、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石まり子、島津章、浅原哲子 肥満症患者における心血管疾患発症リスク因子としての高尿酸血症-多施設共同前向き肥満症コホート- 第90回日本内分泌学会 京都
国内学会	末松三奈、阿部恵子、肥田武、安井浩樹、半谷眞七子、亀井浩行、會田信子、植村和正、山内恵子 「糖尿病教室 IPE(多職種連携教育)」が学生のチームワーク能力および他職種への理解に及ぼす影響 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 名古屋 愛知
国内学会地方会及び分科研究会	山内恵子、坂根直樹、山内崇裕、井上啓子 透析予防・たんぱく制限用ポーションコントロールプレート(ヘルシープレート)を用いた患者教育システムと教材開発に関する研究 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 名古屋 愛知
国内学会	泉諒太、日下部徹、野口倫生、岩倉浩、小山博之、坂東美佳、宮澤崇、田中智洋、寒川賢治、中尾一和 ANGPLT8のノックアウト開発とその糖・脂質代謝調節における意義の検討 第60回日本糖尿病学会学術集会 愛知
国内学会	山陰一、日下部徹、小谷和彦、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石まり子 CAVIは肥満症患者の心血管疾患発症予測マーカーとなる-多施設共同前向き肥満症コホート- 第60回日本糖尿病学会学術集会 愛知
国内学会	井上隆之、田中将志、増田慎也、山陰一、北野隆司、村中和哉、日下部徹、和田哲道、島津章、長谷川浩二、浅原哲子 ω 3不飽和脂肪酸によるSIRT1を介した抗炎症作用とミクログリア活性化抑制機序の解明 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 名古屋
国内学会	塚本雅美・中川内玲子・岡田早来・渡邊知一・小鳥真司・村田敬・泉有紀・山田和範・梶尾裕・清野裕・河野茂夫 アジア西太平洋地域における糖尿病足病変の成因の変化と対策について 第60回 日本糖尿病学会年次学術集会 愛知県名古屋市
国内学会	村田敬 シンポジウム「糖尿病診療におけるリスクマネジメント」「インスリンポンプ・CGMのリスクマネジメント」 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 名古屋
国内学会	高橋かおる、水守智仁、長森茂樹、井上静子、小林昌幸、尾崎友香、青山香、山村恭子、西野忠、安田敏成、菅沼彰子、坂根直樹 ストレスチェックとHbA1c値との関連について 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 名古屋
国内学会	河野茂夫 糖尿病足病変診療の変遷と国際情勢 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 愛知県名古屋市
国内学会	岡田早来・小鳥真司・中川内玲子・服部正和・島津章・林野泰明・河部庸次郎・東輝一郎・小河淳・肥田和之・平尾利恵子・田中剛史・山家由子・梅本琢也・島田典夫・河野茂夫 糖尿病足病変ハイリスク患者への外来での予防的フットケアの有効性についての長期観察研究 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 愛知県名古屋市
国内学会	手塚祐司・村田敬・渡邊知一・井口守丈・阿部充・江里正弘・全栄和・辻光・和田啓道・長谷川浩二・河野茂夫・山田和範・赤尾昌治 糖尿病合併心房細動患者における血糖コントロールと心不全入院リスクの関連性:伏見AFレジストリより 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 愛知県名古屋市
国内学会	小谷和彦、津崎こころ、二連木晋輔、高橋純一郎、戸嶋彦、栗山恒二、坂根直樹、中嶋克行 血中コレステロール合成・吸収マーカー測定の見直し 第60回 日本糖尿病学会年次学術集会 名古屋
国内学会	増田慎也、田中将志、井上隆之、北野隆司、村中和哉、山陰一、日下部徹、島津章、浅原哲子 骨筋格へのパルミチン酸負荷によるマイオカイン・CXCL1分泌がNotchシグナルと筋再生に及ぼす作用 第60回日本糖尿病学会学術集会 愛知
国内学会	北野隆司、安岡祐美子、後藤剛、北村苗穂子、朴時範、岸野重信、小川順、木村郁夫、粕淵真由、谷史人、田中将志、増田慎也、井上隆之、山陰一、日下部徹、島津章、高橋信之、河田照雄、浅原哲子 食餌脂質・ α -リノレン酸由来乳酸菌代謝物による抗炎症性M2型マクロファージの分化誘導を介した腸内環境制御 第60回日本糖尿病学会学術集会 愛知
国内学会	田中将志、山陰一、増田慎也、井上隆之、北野隆司、村中和哉、小鳥真司、和田啓道、小谷和彦、日下部徹、島津章、長谷川浩二、浅原哲子 糖尿病における認知機能低下・認知症の発症予知バイオマーカーの探索-TREM2の病態生理学的意義の解明- 第60回日本糖尿病学会学術集会 愛知
国際学会	河野茂夫 糖尿病足病変診療の実際と今後の展望 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 愛知県名古屋市
国内学会	日下部徹、山陰一、小谷和彦、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石まり子、島津章、浅原哲子 肥満症患者における心血管疾患発症リスク因子としての高尿酸血症-多施設共同前向き肥満症コホート- 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 名古屋
国際学会	Z.Xu, E. De Jesus, T.Khun, S.Kono, T. Van Binh, S.Twigg Diabetes Foot in Asia 第9回アジア糖尿病学会シンポジウム 愛知県名古屋市
国内学会	鎌田智英実、三木章江、奥村亮太、秦野佑紀、藤原真治、坂根直樹、吉村幸雄 山間地域に居住する高齢者の買い物状況と栄養摂取状況およびフレイルとの関連 第71回日本栄養・食糧学会大会 沖縄
国内学会	塚本雅美・泉有紀・中川内玲子・小鳥真司・林野泰明・島田典生・梅本琢也・山家由子・田中剛史・瀧秀樹・平尾利恵子・肥田和之・小河淳・小野恵子・島津章・河野茂夫 糖尿病足病変の診療の質と転帰における国際(日独)多施設共同研究 第60回日本糖尿病学会年次学術総会 名古屋
国内学会	宮崎亮、安藤仁、津崎こころ、坂根直樹 中高齢者の日常身体活動量に対し、日内生活リズムはどのように関与しているのか? 第17回日本抗加齢医学会総会 東京
その他	山内恵子 講演:ヘルシープレート健康法 東京
その他	山内恵子 講演:笑いと健康ヘルシープレート健康法 名古屋
その他	山内恵子 講演:産後ケアと離乳食 名古屋
その他	山内恵子 講演:笑ってすっきり気質を知って楽々人生! 山口
国内学会	日下部徹 糖・脂質代謝調整における脂肪組織、骨筋格の役割 第6回Rakunan Diabetes Conference for Next Generation 京都
国際学会	N Sakane, T Ohshima, S Nirengi, K Kotani, K Okazaki, J Sato, S Suzuki, S Morita, K Izumi, M Kato, N Ishizuka, M Noda, H Kuzuya. Frequent self-weighting delays or prevents the development of type 2 diabetes in a real- world setting: A subanalysis of Japan Diabetes Outcome Trial-1 77th American Diabetes Association Scientific Sessions- San Diego, USA

その他	村田敬 自己管理ってなんだろう? 第4回CGMから見えてきた今後の糖尿病治療を考えるスモールミーティング 東京
国内学会地方会及び分科研究会	村田敬、渡邊知一、岡田早未、塚本雅美、橋本有紀子、河口八重子、吉岡ふみ、小久保敦子、弓場洋子、騎馬沙苗、小鳥真司、浅原哲子、河野茂夫、坂根直樹 国立病院機構京都医療センターにおける思春期および若年成人1型糖尿病患者の血糖コントロール 第23回小児・思春期糖尿病研究会 東京
国内学会地方会及び分科研究会	森潤、松井克之、渡邊知一、中島久和、森麻美、村田敬、小坂喜太郎、丸尾良浩、細井創 小児科と内科が協働作業で運営するサマーキャンプ「京都滋賀つばみの会」 第23回小児・思春期糖尿病研究会 東京
国内学会地方会及び分科研究会	日下部徹、泉諒太、中尾一和 脂肪肝モデルラットを用いたニコチンのNASH進展に及ぼす影響に関する検証 第32回公益財団法人喫煙科学研究財団平成28年度助成研究発表会 東京
国内学会	日下部徹、山陰一、島津章、浅原哲子 肥満症患者における心血管疾患発症リスク因子としての高尿酸血症—多施設共同前向き研究— 第13回高尿酸血症・メタボリックシンドローム リサーチフォーラム研究集 大阪
国内学会地方会及び分科研究会	伊藤孝子、太田萌菜、山内恵子 ポーションコントロールプレート(ヘルシープレート)を活用した栄養教育 一報—食事バランスを伝えた教室事例— 第5回日本糖尿病療養指導学会 京都
国内学会地方会及び分科研究会	太田萌菜、伊藤孝子、山内恵子 ポーションコントロールプレートを活用した栄養教育 二報—糖尿病患者への試み— 第5回日本糖尿病療養指導学会 京都
国内学会	井上隆之、田中将志、増田慎也、山陰一、北野隆司、村中和哉、日下部徹、和田啓道、島津章、長谷川浩二、浅原哲子 ω3系多価不飽和酸によるSIRT1経路活性化を介したマウス活性化ミクログリアにおける炎症抑制作用機序の解明 第22回アディポサイエンス・シンポジウム 大阪
国内学会	日下部徹、横田繁史、田中将志、増田慎也、井上隆之、北野隆司、山陰一、村中和哉、石井好二郎、真田樹義、浅原哲子 サルコペニア肥満の効果的診断法の開発 第36回日本臨床運動療法学会学術集会 大阪
国内学会	河野茂夫 糖尿病足壊疽の予知と重篤化阻止 第34回糖尿病Up・Date賢島セミナー 三重県志摩市
国内学会	山内恵子、太田萌菜、伊藤孝子 ポーションコントロールプレート 糖尿病からCKDまでの応用 第64回日本栄養学会自由集会 徳島
国内学会	山内恵子、太田萌菜、山内崇裕、中橋寿美枝 ポーションコントロールプレートを活用した栄養教育 三報—ランチタイムに簡単介入!ヘルシープレートでメタボ改善— 第5回日本糖尿病療養指導学会 徳島
国内学会	山内恵子、太田萌菜、中橋寿美枝 ポーションコントロールプレートを活用した栄養教育 三報—ランチタイムに簡単介入!— 栄養改善学会 徳島
国内学会	太田萌菜、伊藤孝子、山内恵子 ポーションコントロールプレートを活用した栄養教育 二報—糖尿病患者への試み— 栄養改善学会 徳島
国内学会	伊藤孝子、太田萌菜、山内恵子 ポーションコントロールプレート(ヘルシープレート)を活用した栄養教育 一報—食事バランスを伝えた教室事例— 栄養改善学会 徳島
国内学会	宮崎高、安藤仁、津崎こころ、濱寄朋子、樋口行人、大下和茂、田代智紀、坂根直樹 若年者における朝型夜型運動嗜好性質問紙の開発 第72回日本体力医学会大会 愛媛
国内学会	二連木晋輔、藤林真美、古野幸子、内部昭彦、河瀬泰治、坂根直樹 大学ラグビー選手におけるACTN3 R577Xのポジション別比較 第72回日本体力医学会 愛媛
国内学会	鋤納心、河口八重子、二連木晋輔、小谷和彦、菅沼彰子、坂根直樹 糖尿病センターにおける脂質改善の療養指導(VIPプログラム)の効果:実行可能性試験 第17回日本糖尿病情報学会年次学術集会 佐賀
国内学会	中川康司、菅沼彰子、坂根直樹 糖尿病教育スタッフのワーク・エンゲージメントの評価とワークショップによる向上に関する研究 第17回日本糖尿病情報学会年次学術集会 佐賀
国内学会	河口八重子、鋤納心、二連木晋輔、菅沼彰子、小谷和彦、坂根直樹 高中性脂肪血症に対するプリーフインターベンション「HAPPYプログラム」(節酒プログラム)の効果 第17回日本糖尿病情報学会年次学術集会 佐賀
国内学会	同道正行、菅沼彰子、坂根直樹 糖尿病予防を目指した運動環境や動機づけに関する調査 第17回日本糖尿病情報学会年次学術集会 佐賀
国内学会	藤原真治、津崎こころ、小谷和彦、大林秀樹、瀬川正昭、坂根直樹 薬剤師からの「宿題」を医師から勉強する患者教育方法:HbA1c認識向上への取り組みがHbA1c値へ与える影響 第17回日本糖尿病情報学会年次学術集会 佐賀
国内学会	岡田浩 Get Motivated: The positive impact of community pharmacists on chronic disease management- A look at the COMPASS Project - 日本社会薬学会第36年会 大阪
国際学会	Y kawaguchi, J Somei. Taste class with Sapere method for 2&3 yrs. children at nursery school in Japan. 6th SAPERE Scientific & Dissemination Symposium Lyon, France
国内学会	村田敬 ランチョンセミナー「CGMと運動療法」 第36回日本臨床運動療法学会 大阪
その他	渡邊知一 インスリンポンプ療法について～CSII, SAP、そしてこれから～ 第11回滋賀京都IDDMカンファレンス 滋賀
国内学会	泉諒太、日下部徹、野口倫生、岩倉浩、小山博之、坂東美佳、宮澤崇、田中智洋、寒川賢治、中尾一和 ANGPTL8ノックアウトラットの開発と肥満症治療標的としてのANGPTL8の意義の解明 第38回日本肥満学会学術集会 大阪
国内学会	井上隆之、田中将志、増田慎也、山陰一、北野隆司、村中和哉、日下部徹、和田啓道、島津章、長谷川浩二、浅原哲子 ω3不飽和脂肪酸によるSIRT1経路を介したミクログリア活性抑制 第38回日本肥満学会 大阪
国内学会	増田慎也、田中将志、井上隆之、北野隆司、村中和哉、山陰一、日下部徹、島津章、浅原哲子 パルミチン酸によって誘導されるマイオカインの同定とその筋化における作用の解明 第38回日本肥満学会 大阪
国内学会	二連木晋輔、坂根直樹、天笠志保、本間俊行、布施沙由理、黒澤裕子、浜岡隆文 寒冷誘導熱産生とヒト褐色脂肪組織および交感神経性超低周波領域成分(VLF)との関連 第38回日本肥満学会 大阪
国内学会	山陰一、村中和哉、小谷和彦、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石まり子、島津章、浅原哲子 国立病院機構多施設共同前向き肥満症コホート研究におけるCVD予測指標としてのCAVIの有用性 第38回日本肥満学会 大阪
国内学会	田中将志、山陰一、増田慎也、井上隆之、北野隆司、村中和哉、小鳥真司、村瀬永子、大谷良、中村道三、和田啓道、小谷和彦、日下部徹、島津章、長谷川浩二、浅原哲子 糖尿病・肥満における新規認知症予知バイオマーカーの検討—TREM2の病的意義の解明— 第38回日本肥満学会 大阪
国内学会	北野隆司、井上亮、塚原隆充、田中将志、増田慎也、井上隆之、山陰一、日下部徹、長谷川浩二、島津章、浅原哲子 日本人2型糖尿病におけるPICRUSt予測メタゲノム解析を用いた腸内細菌叢の病態生理学的意義の解明 第38回日本肥満学会 大阪

国内学会	横田繁史、増田慎也、田中将志、山陰一、村中和哉、井上隆之、北野隆司、真田樹義、石井好二郎、日下部徹、島津章、浅原哲子 肥満患者の糖代謝能・骨格筋量制御における筋肉由来液性因子・myostatinの病態意義 第38回日本肥満学会 大阪
国内学会	日下部徹、山陰一、村中和哉、小谷和彦、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石、まり子、島津章、浅原哲子 肥満症患者における心血管疾患発症リスク因子としての高尿酸血症—多施設共同前向き研究— 第38回日本肥満学会 大阪
その他	村田敬 インスリンポンプとCGM ベガサスの会・千笑朱鷺の会 新潟
国内学会	宮崎高、綾部誠也、犬飼義秀、安藤仁、坂根 直樹 健康増進教室に参加した中高齢者の、自宅での運動実施状況—1日内生活リズムに着目して— 第4回サルコペニア・フレイル学会大会 京都
国内学会	浅原哲子 生活習慣病・メタボ予防のための効果的な食事療法と長寿の秘訣 第39回日本臨床栄養学会総会・第38回日本臨床栄養協会総会 第15回大連合大会 市民公開講座 千葉
その他	浅原哲子 超高齢社会の健康寿命延伸を目指した糖尿病・メタボリックシンドロームの治療戦略 Kurume Vascular Biology Meeting 福岡
国内学会地方会及び分科研究会	村田敬、二連木晋輔、河口八重子、鋤納心、渡邊知一、坂根直樹 新規CGM機器FreeStyle リブレProの精度の検討 第17回日本先進糖尿病治療研究会 新潟
国内学会	山陰一、浅原哲子 京都地域の外来患者におけるポジティブ心理要因と生活習慣病コントロールとの関連 第76回日本公衆衛生学会総会 鹿児島
国内学会地方会及び分科研究会	村田敬、渡邊知一、木村早未、塚本雅美、水谷結香子、橋本有紀子、河口八重子、吉岡ふみ、二連木晋輔、小久保敦子、弓場洋子、騎馬沙苗、小鳥真司、浅原哲子、河野茂夫、坂根直樹 国立病院機構京都医療センターにおける1型糖尿病患者の発症年齢の分布 第15回1型糖尿病研究会 岩手
国内学会地方会及び分科研究会	渡邊知一、村田敬、森文美、二連木晋輔、河口八重子、鋤納心、坂根直樹 CGMの機種間精度比較に関するパイロットスタディ 第54回日本糖尿病学会 近畿地方会 大阪
国内学会地方会及び分科研究会	河野茂夫 糖尿病診療アップデートと病診連携 伏見糖尿病連携学術集会 京都府京都市
その他	村田敬 患者さんの主体性を高める医療コミュニケーションとは 伏見糖尿病連携学術講演会 京都
その他	小鳥真司 病態を意識した糖尿病の薬物療法を考える 伏見糖尿病連携学術講演会 京都
国内学会地方会及び分科研究会	河野茂夫 糖尿病診療アップデート 伏見医師会ランチョンセミナー 京都府京都市
国内学会	井上亮、北野隆司、塚原隆充、田中将志、増田慎也、井上隆之、山陰一、日下部徹、長谷川浩二、島津章、浅原哲子 日本人の糞便中細菌叢におけるFirmicutes門・Bacteroidetes門の比とBMIの関係 第22回日本食物繊維学会学術総会 千葉
その他	浅原哲子 生活習慣病患者の心血管病発症予防に役立つオメガ3脂肪酸の機能 第3回アマニフォーラムセミナー 東京
その他	島津章 内分泌代謝疾患:間脳下垂体疾患 脳とホルモンによる体の調節 京都市委託事業 難病患者医療講演会 京都
国内学会地方会及び分科研究会	菅沼彰子、二連木晋輔、河口八重子、葛谷英嗣、坂根直樹 非対面の電話支援を用いた糖尿病発症予防効果について:クラスター・ランダム化比較試験 SPSS Datathon2017 東京
その他	浅原哲子 SGLT2阻害薬の肥満糖尿病患者に対する影響 第3回食事を通して糖尿病治療を考える会 東京
その他	山内恵子 講演:すぐに実践したくなる食の講座 大阪
国内学会	浅原哲子 肥満症・糖尿病の動脈硬化予防のためのリスク評価系の構築とω3多価不飽和脂肪酸の効果 第21回日本病態栄養学会年次学術集会 京都
その他	村田敬 CSII/SAPの患者支援 自己決定支援とピアサポートの重要性 CSII/SAPセミナー@岡山~患者さん満足度最大化のために~ 岡山
その他	山内恵子 名古屋市健康づくり教室 名古屋
その他	山内恵子 講演:栄養士に必要なコミュニケーション力 名古屋
その他	山内恵子 講演:本番すぐに実践したくなる食の講座 名古屋
その他	山内恵子 講演:すぐに実践したくなる食の講座 名古屋
その他	山内恵子 名古屋市健康づくり教室 名古屋
その他	山内恵子 ヘルシープレート活用術 船橋
その他	村田敬 3C(カーボカウント、CGM、CSII)をきわめる 平成29年度内分泌代謝性疾患専門医研修会 京都
その他	森文美、小鳥真司、木村早未、水谷結香子、塚本雅美、渡邊知一、村田敬、日下部徹、浅原哲子、島津章、河野茂夫 抗精神病薬の変更によって顕著な減量および糖・脂質代謝の改善を認めた肥満症の一例 第12回糖尿病臨床フォーラム 大阪
国際学会	T. Murata, A. Tone, R. Koyama, K. Kamiuchi, K. Narasaki, M. Tsuruo, T. Watanabe, K. Kato, H. Sawaki, S. Kawashima, K. Osawa, M. Kimura, M. Toyoda, N. Sakane, for the HIGH-QOL study group THE EFFECT OF HIGH CONCENTRATION INSULIN GLARGINE TO THE QUALITY OF LIFE OF THE PATIENTS WITH TYPE 2 DIABETES MELLITUS: A PRE-POST STUDY (HIGH-QOL STUDY) 11th International Conference on Advanced Technologies & Treatment for Diabetes Vienna (Austria)
その他	浅原哲子 心血管病予防を目指した糖尿病の治療戦略 福岡糖尿病学術講演会 ~女性糖尿病医としてのキャリアを考える~ 福岡
国内学会地方会及び分科研究会	河野茂夫 糖尿病足病変治療のアップデート 第3回信州糖尿病フットケア研究会 長野県安曇野市
国内学会	河野茂夫 糖尿病足病変とフットケア 第52回糖尿病学の進歩 福岡県福岡市

□ 投稿論文など

著者	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	出版社	発行年 および月
Sakane N, Sato J, Tsushita K, Tsujii S, Kotani K, Tominaga M, Kawazu S, Sato Y, Usui T, Kamae I, Yoshida T, Kiyohara Y, Sato S, Tsuzaki K, Nirengi S, Takahashi K, Kuzuya H, Group JR.	Determinants of Glycated Hemoglobin in Subjects With Impaired Glucose Tolerance: Subanalysis of the Japan Diabetes Prevention Program.	Journal of Clinical Medicine Research	9	4	360-365		2017.4
村田敬	42歳の女性.主訴「連日,低血糖で午前3時に目が覚める」	Medicina	54	増刊号4	181-182		2017.4
村田敬, 小林哲郎	プロからプロへ 代謝内分泌・糖尿病 インスリン注入ポンプのトラブル予防の対策は? 【推奨電池の使用や血糖自己測定 of 励行, ペン型インスリン注入器の常時携帯で対応】.	医事新報	4853		57-58	日本医事新報	2017.4.29
村田敬	35歳の男性.来院理由「交通事故のため搬入された」	Medicina	54	増刊号4	183-184		
Inoue T, Tanaka M, Masuda S, Ohue-Kitano R, Yamakage H, Muranaka K, Wada H, Kusakabe T, Shimatsu A, Hasegawa K, Satoh-Asahara N.	Omega-3 polyunsaturated fatty acids suppress the inflammatory responses of lipopolysaccharide-stimulated mouse microglia by activating SIRT1 pathways.	Biochim Biophys Acta	1862	5	552-560		2017.5
Ito H, Sato T, Satoh-Asahara N, Noda M.	Erratum to: Impact of medication adherence on renal function in comorbid patients with type 2 diabetes and depression: protocol for a cohort study.	BMC Fam Pract	10	18-1	61		2017.5
浅原哲子, 北野隆司	特集 腸内細菌と生活習慣病「腸内細菌と食事療法」	月刊糖尿病	9	5			2017.5
日下部徹	レプチンを用いた肥満症, 糖尿病に対する新しい治療法の開発	最新医学	72	6	124-129	最新医学社	2017.6
廣田勇士, 村田敬	プロからプロへ 代謝内分泌・糖尿病 無自覚性低血糖の診断方法・予防方法・患者教育【低血糖状態を積極的に確認するとともに, 運転への影響を患者に知ってもらう】	医事新報	4859		54-55	日本医事新報	2017.6.10
Murata T, Tsuzaki K, Nirengi S, Watanabe T, Mizutani Y, Okada H, Tsukamoto M, Odori S, Nakagawachi R, Kawaguchi Y, Yoshioka F, Yamada K, Shimatsu A, Kotani K, Satoh-Asahara N, Sakane N.	Diagnostic accuracy of the anti-glutamic acid decarboxylase antibody in type 1 diabetes mellitus: Comparison between radioimmunoassay and enzyme-linked immunosorbent assay.	J Diabetes Investig	8	4	475-479		2017.7
Tanaka M, Hajime Y, Masuda S, Inoue T, Kitano Ohue-Kitano R, Araki R, Matoba Y, Saito M, Nagaoka T, Yonezawa K, Tanaka T, Suzuki M, Sawamura M, Nishimura M, Odori S, Wada H, Kotani K, Kusakabe T, Shimatsu A, Hasegawa K, Satoh-Asahara N.	Serum soluble TREM2 is a potential novel biomarker of cognitive impairment in Japanese non-obese diabetic patients.	Diabetes&Metabolism	S126-3636	17	30470-30476		2017.7.31
高橋かおる	糖尿病発症リスクを高める生活習慣は?	糖尿病ケア	14	7	50		2017.7
高橋かおる	肥満者に多い検査値異常は?	糖尿病ケア	14	7	51		2017.7
Murata T, Nirengi S, Sakane N, Kuroda A, Hirota Y, Matsuhisa M, Namba M, Kobayashi T.	The safety of the batteries and power units used in insulin pumps: A pilot cross-sectional study by the association for the study of innovative diabetes treatment in Japan.	Journal of Diabetes Investigation	1111	12765			2017.10
Sakane N.	Diabetes prevention in the real world: Insights from the JDPP and J-DOIT1.	J Gen Fam Me	18	6	325-330		2017.10
Yamaguchi M, Kotani K, Tsuzaki K, Motokubota N, Komai N, Sakane N, Moritani T, Nagai N.	The CLOCK 3111T/C single nucleotide polymorphism and daytime fluctuations of gastric motility in healthy young women: A preliminary study.	Chronobiol Int	34	10	1478-1482		2017.10
山内恵子	ポーションコントロールダイエット	朝晩ダイエットでスマートライフ					2017.10
Inoue R, Ohue-Kitano R, Tsukahara T, Tanaka M, Masuda S, Inoue T, Yamakage H, Kusakabe T, Hasegawa K, Shimatsu A, Satoh-Noriko A.	Prediction of functional profiles of gut microbiota from 16S rRNA metagenomic data provides a more robust evaluation of gut dysbiosis occurring in Japanese type 2 diabetic patients.	JCBN	61	3	217-221		2017.11
河野茂夫	糖尿病トピックス 合併症③ 糖尿病足病変	Medical Tribune					2017.11.2
山内恵子	簡単これならできる! 山内恵子のヘルシープレートで低たんぱく食	簡単これならできる! 山内恵子のヘルシープレートで低たんぱく食					2017.11
山内恵子	山内恵子のヘルシープレートで低たんぱく食 用ランチョンマット	山内恵子のヘルシープレートで低たんぱく食 用ランチョンマット					2017.11

Murata T, Aoki Y, Kato Y, Tanaka T, Araki R, Kato K, Hida K, Kawamura T, Yoshida K, Imamura Y, Toyonaga T, Yamada K, Sakane N; NHO T1DM Research Group.	The Percentage of Continuous Subcutaneous Insulin Infusion Usage Among Adult Type 1 Diabetes Mellitus Patients in Japan: A Cross-Sectional Study at National Hospital Organization Hospitals.	J Diabetes Sci Technol	11	5	1055-1056		2017.12
Murata T, Sakane N, Kato K, Tone A, Toyoda M.	The Current Intermittent-Scanning CGM Device Situation in Japan: Only Adjunctive Use to SMBG Is Approved and the Latest Health Insurance Coverage Details.	J Diabetes Sci Technol	10		10.1177/1932296817749860. [Epub ahead of print]		2017.12
Aotani D, Ariyasu H, Shimazu-Kuwahara S, Shimizu Y, Nomura H, Murofushi Y, Kaneko K, Izumi R, Matsubara M, Kanda H, Noguchi M, Tanaka T, Kusakabe T, Miyazawa T, Nakao K.	Development of ghrelin transgenic mice for elucidation of clinical implication of ghrelin.	Endocr J	64 (Suppl)		531-533		2017
Goto M, Hamaoka T, Maeda C, Hirayama T, Nirengi S, Kurosawa Y, Nagano A, Terada S.	Partial range of motion exercise is effective for facilitating muscle hypertrophy and function via sustained intramuscular hypoxia in young trained men.	Journal of Strength and Conditioning Research					2017
Murata T, Nirengi S, Kawaguchi Y, Sukino S, Watanabe T, Sakane N.	Accuracy of Novel "Factory-Calibrated" Continuous Glucose Monitoring Device in Non-Diabetic Adults: a Pilot Study.	Biomedical Sciences	3	6	109-113		2017
河口八重子	NHK 今日の料理	今日の料理					2017
河口八重子	認知症・アルツハイマー最新防衛術 マインド食で憂いなし	週刊新潮					
浜岡隆文、二連木晋輔、坂根直樹、米代武司、斉藤昌之	近赤外時間分解分光法を用いたヒト褐色脂肪組織の計測	糖尿病学			104-112		2017
日下部徹、浅原哲子	肥満外科治療後のリバウンド対策	肥満・糖尿病の外科治療			181-184	メディカ出版	2017
Hashimoto K, Nishihara E, Matsumoto M, Matsumoto S, Nakajima Y, Tsujimoto K, Yamakage H, Satoh-Asahara N, Noh JY, Ito K, Miyauchi A, Mori M, Yamada M, Ogawa Y.	Sialic Acid-Binding Immunoglobulin-Like Lectin1 as a Novel Predictive Biomarker for Relapse in Graves' Disease: A Multicenter Study.	Thyroid	28	1	50-59		2018.1
Ohue-Kitano R, Yasuoka Y, Goto T, Kitamura N, Si-Bum P, Kishino S, Kimura I, Kasubuchi M, Takahashi H, Li Y, Yeh Y-S, Jheng H-F, Iwase M, Tanaka M, Masuda S, Inoue T, Yamakage H, Kusakabe T, Tani F, Shimatsu A, Takahashi N, Ogawa J, Satoh-Asahara N, Kawasa T.	α -Linolenic acid-derived metabolites from gut lactic acid bacteria induce differentiation of anti-inflammatory M2 macrophages through G protein-coupled receptor 40.	FASEB J	32	1	304-308		2018.1
Okada H, Onda M, Shoji M, Sakane N, Nakagawa Y, Sozu T, Kitajima Y, Tsuyuki RT, Nakayama T.	Effects of lifestyle advice provided by pharmacists on blood pressure: The COMMunity Pharmacists ASSist for Blood Pressure (COMPASS-BP) randomized trial.	Biosci Trends	11	6	632-639		2018.1
Nirengi S, Sakane N, Amagasa S, Wakui S, Homma T, Kurosawa Y, Hamaoka T.	Seasonal differences in brown adipose tissue density and pulse rate variability in a thermoneutral environment.	Journal of Physiological Anthropology	37	1	6		2018.2
鋤納心	「説明力」と「回答力」を磨く!保健指導「夕食をとるのが遅い(家族の協力が得られる場合)(自分で管理しなければならない場合)」	産業保健と看護	10	2	20-23	メディカ出版	2018.2
Masuda S, Tanaka M, Inoue T, Kitano R, Yamakage H, Muranaka K, Kusakabe T, Shimatsu A, Hasegawa K, Satoh-Asahara N.	Chemokine(C-X-C motif) ligand 1 is a myokine induced by palmitate and is required for myogenesis in mouse satellite cells.	Acta Physiologica	222	3	[Epub ahead of print]		2018.3
McCormack A, Dekkers OM, Petersenn S, Popovic V, Trouillas J, Raverot G, Burman P; ESE survey collaborators.	Treatment of aggressive pituitary tumours and carcinomas: results of a European Society of Endocrinology (ESE) survey 2016.	European Journal of Endocrinology.	178	3	265-276		2018.3
Sukino S, Nirengi S, Kawaguchi Y, Kotani K, Tsuzaki K, Okada H, Suganuma A, Sakane N.	Effects of a Low-AGE Diet on Insulin Levels: The Feasibility of a Crossover Comparison Test.	Journal of Clinical Medicine Research					2018.3
村田敬	22歳の女性。主訴「嘔吐」	Medicina	54	増刊号4	179-180		2018.4
二連木晋輔	いろいろな脂肪	糖尿病ケア	14	7	18-21		2018.7
松井浩	運動療法	糖尿病ケア	14	7	34-37		2018.7
山内恵子	食事療法	糖尿病ケア	14	7	26-33		2018.7
河口八重子	肥満を伴う独身2型糖尿病患者	糖尿病ケア	14	7	56-57		2018
河口八重子	栄養指導・管理のためのスキルアップシリーズ vol.6『脂質異常症の最新食事療法のなぜに答える 実践編』	臨床栄養					2018
坂根直樹	減量のエビデンス	糖尿病ケア	14	7	7-10		2018
村田敬		通じる力 医師のためのコミュニケーションスキル入門				金芳堂	